

平成23年度実践プロジェクト成績発表会



発表の様子（左）、質疑応答（右）

京都府立農業大学校の学生たちは、課題解決能力を習得するため、「プロジェクト学習」に取り組んでいます。

1年生の冬から2年生にかけて、就農に向けた課題を見出し、その解決を目指して計画を立て、作物を栽培しながら、調査・まとめを行ってきました。研究テーマは、出身地の主要作物や就農に向けたシミュレーションなど様々です。

12月15日には、この1年間取り組んできた活動の成果を発表しました。

京都府中丹農業士会や府内高等学校、農業大学校同窓会、研究、普及組織の方々の出席をいただき、質問や助言をいただきました。

学生たちは、緊張しながらも質問にこたえ、実際に体験したからこそ知り得た成果や、将来に向けてのビジョンを示すことができました。

今後、2年生は卒業論文をとりまとめ、3月には卒業を迎えます。プロジェクト活動の過程や発表会での経験は、次代の農業を支える人材となる彼らにとって、貴重な糧となることでしょう。